



愛情と信頼に満ちた明るく活気のある学校 地域に支えられ子どもたちと保護者に愛される学校

さきばるだより

創立116年 奄美市立崎原小中学校 学校だより 令和6年7月号

令和6年7月30日発行

地域の方々に支えられ

崎原小中学校 校長 鑑 謙治

あっという間に1学期も終わりを迎えようとしています。保護者の皆さんや地域の皆さんのおかげで1学期も子供たちに素晴らしい経験をさせてあげることができ本当に感謝しています。子供たちの作文の中にも地域の方々に支えられていることに感謝した内容がありましたので紹介します。

しん切であられる自まんの集落

奄美市立崎原小学校三年 尾野島 紘

どんなところなのかなあ。ときどきするなあ。はじめてのてん校。はじめてのお引っ越し。わたしの心の中で、楽しみな気もちとふあんな気もちがずっとにらめっこしていました。今では、ふあんな気もちがあったことなんてわすれてしまうくらい、あま美大島の、このさき原集落に来ることができて、本当によかったと思っています。ここが新しいおうちかあ。さき原の集落に着くと、集落の方がたくさんお手伝いに来てくれました。わたしたち五人家族の、トラックぎゅうぎゅうの犬にもつが、あつとう間に集落のおじちゃんたちの力で、新しい家に運びこまれました。中に入ると、古いけれど、まともゆかも、ヒカヒカでした。お父さんとお母さんが、「集落の人たちが、きれいにしてくれたんだよ。」と教えてくれました。集落に住む、同じ学校のきすくさんとくるみさんも、大人といっしょにゆかのそうさんがけをしてくれたそうす。帰るときには、「こまったことがあったら、いつでも言うんだよ。」と、ここにこえ顔を声をかけてくれました。この日から、わたしには、たくさんのおんせきができたみたいになりました。今、一番楽しいのは、毎しゅう水曜日の夜に行っている島うたの練習です。島の行事の八月おどりや九月の運動会でも歌うそうで、みんないろいろな曲を練習しています。

「ドドン、ドドン、ドドン、ドドン。」
女の人たちがたく、ちちんの音に合わせてみんなていっしょに歌います。
「つむぎちゃんも、いっしょにどうぞ。」
おばちゃんたちが見せてくれる島うたの台本をたよりに、わたしもいっしょに歌います。「じょうす、じょうす。」
そうほめてくれるおばちゃんたちは、台本を見ないでもたくさんのおんせきを歌うことができます。島口で書いてあるからむずかしいけど、おじちゃんやおばちゃん、お母さんや妹と顔を見合わせて歌う時間は、心がおどります。
また、わたしが学校から帰るときには、ハブが出るとあぶないので、集落のおばちゃんが交代で、おうちまでいっしょに帰ってくれます。
「つむぎちゃん、学校は、楽しかった？」
歩きながら、いつもお話をします。おばちゃんに学校のことをお話するのも、昔のさき原のことを聞くのも一日の楽しみの一つです。

わたしが今、毎日楽しくすごせるのは、さき原の人たちのたくさんのおんせきのおかげです。ありがとうございますをわすれずにすごしていきたいです。そして、これから、まだお話ししたことがない人とも、たくさんお話ししたいと思っています。もっともっと、このしん切であられるさき原のことを知りたいです。

いつも関わってくださる皆さんに感謝の思いが素直に綴られている素敵な作文です。もう一点は、6月の第2土曜日に行われた地域の方々に御協力いただいた内容です。急な連絡にもかかわらず、崎原小中学校にお集まりいただいた皆さんに心から感謝申し上げます。



令和6年度児童生徒会スローガン

切磋琢磨

—ひとりじゃない。
みんな誰かの応援団！—

タナガとりと羽子板

奄美市立崎原小学校四年 岩越 未宙

最悪だ。今年も雨のせいで、タナガとりができないなんて…。「タナガ」とは、奄美の方言で、手長エビのことをいう。私の通う学校は、自然豊かな場所にあるため、行事や授業で、たくさんのおんせき活動が行われる。その中でも、特に、私たちが楽しみにしている活動が「タナガとり」なのだ。私は、この日を何週間前から心待ちにしていた。天気予報で雨マークが出ているのを確認してからは、てるてるぼうすまで作った。それなのに荒天のため中止。私の心も土砂降りだった。その日の帰りの会で、「明日は、タナガとりの代わりに、地域の方々が来てくださって、昔遊び交流をすることになりました。」と、担任の先生から連絡があった。昔遊びかあ。楽しいのかなあ。私の心は、晴れなままだった。

すごい…。活動時間になり、体育館へ行くと、羽子板、あやとり、お手玉、グランドゴルフ、けん玉、輪投げなど、今までしたことのないたくさんのおんせき道具が準備されていた。そして、それぞれのコーナーに、地域のおばあちゃんやおじいちゃんも笑顔でスタンバイしている。私の心は一気に高鳴った。カコン、カン。カチン、コト。

「あげえ。みひろ、うまいねえ。」
私もおばあちゃんも、あせびっしょりになりながら、体育館に羽子板の心地よい音をひびかせていた。
「おばあちゃん、もう一回、もう一回。」
初めて体験する羽子板遊びに、私は気分がよくなって夢中になっていた。お次はけん玉。「おばあちゃん、玉のゆれが止まるのを待って。そして、狙いを定めて投げてみて。」
けん玉が得意な私は、おばあちゃんたちにお手本を見せながら、コツをひろうしていた。

「みひろさん、すごいね。私にも教えて。」
周りに集まってきた下級生たちにも教えながら、この時間がずっと続けばいいのになあと思った。活動の終わりに、「残念そうみなさんを見て、校長先生が、昨日の夕方、地域の方に呼びかけてくださりました。急なお願にも関わらず、みんなのために、たくさんのおんせきの方々が来てくださりました。お礼を言います。」と先生がおっしゃった。昔遊びなんてと思っていた昨日の自分はずかしくなった。思い返せば、今日だけではない。崎原の地域の方々は、運動会や学習発表会、炭作りなど、私たちの学校の行事には、いつも足を運んでくださっている。まるで、本当の孫のように、私たちのがんばりをほめてくださる。今回も、私たちが少しでも楽しめるように来てくださったのだ。私たちの充実した学校生活は、地域の方々のたくさんのおんせきに支えられている。その本当のありがたさに気付くことができた私の心は、すっかりと晴れわたっていた。

水泳発表会・校内弁論大会・学校保健会

7月5日(金)は、小学生は水泳発表会。中学生は校内弁論大会が行われました。とても暑い日でしたが、多くの方々に応援に来ていただき感謝申し上げます。水泳発表会は、たくさんのおんせきをいただき、いつも以上の結果が出たようです。校内弁論大会は、各学級ごとの審査を通過した6人が発表してくれました。どれも秀逸な作品、発表ばかりで驚かされました。その中でも、方言について書いた保枝志琉さんの作品が崎原中学校代表に選ばれました。



平田 まりな コンサート

6月30日は今年も平田まりなさんに崎原校へお越しいただきコンサートを行いました。昨年度同様、素晴らしい歌声、素晴らしい三味線の音を体育館いっぱいに響かせていただきました。今年は他校の子供たちもまりなさんと一緒に歌ってくれ、昨年度以上のコンサートとなりました。その後は、まりなさんと一緒に懇親会を実施しました。こちらも大盛り上がりでした。今回の飲食費用を出していただいた方々にこの場をいただき感謝申し上げます。ご協力ありがとうございました。



服のチカラプロジェクト

7月3日(水)は、ファーストリテイリング(ユニクロやGUを運営している会社)から教育部のリーダーが来てくださり、服のチカラプロジェクトの出前授業を行っていただきました。簡単に言うと子供服を集めて、難民キャンプの子供たちへ届けるというプロジェクトです。もし、家に眠っている子供服がありましたら崎原小中学校へお持ちください。可能であれば、いろんな人に呼びかけていただけると幸いです。締切は11月8日(金)です。奄美では、子供服を買い取ってくれるところがないそうですので、この機会に是非ご検討をお願いします。



8月の主な行事

- 1日(木) 出校日
- 5日(月) 奄美市中学生ひかり会議
- 21日(水) 出校日
- 25日(日) P T A 奉仕作業

9月の主な行事

- 2日(月) 始業式
- 3日(火) 実力テスト(中3)
- 14日(土) 土曜授業 運動会会場作り
- 15日(日) 秋季運動会
- 25日(水) 避難訓練(地震・火災)

